

委員評価シート 自由意見

【経営課題1】魅力あふれるまちづくり

- フラダンスに参加した人の意見で、「区政行事にあまり関心がなかったけれど、いろんな催しに参加したかった。
- 若い人たちが区行事に参加するきっかけになっていいと思います。
- 「発見つる魅力」については、鶴見区を知るのにわかりやすく、これからも大いに参考にしたいという声を聴きました。
- つるみワールドフェスタを見に行きました。昨年同様、秋の好天に恵まれ人出も多く楽しい催しになったと思います。国際庭園や日本庭園等の舞台設定がよくできていて参加者もいい気分で踊りや演奏ができたのではないのでしょうか。また、ワールドカフェも繁盛していて買う人の行列ができていました。賑わいを演出できる鶴見緑地があることに感謝したい。秋のイベントとして高く評価したい。
- TURUMI ウィンターフェスティバルを見に行ってきました。昨年同様幻想的な雰囲気を楽しむことができました。人出も多く冬の風物詩として高く評価したい。また、今年は出店も多くなり暖かいグルメで寒さの暖をとっている人もいた。レーザー光線ショーの合間を埋める演出にもう一工夫が欲しい。
- それぞれのイベントが年々工夫進化されたり、同時集約開催されたり、集客力をアップするよう努力されていることがとてもよいと思う。イベントを実施・実行されている皆さんの一層の頑張りに期待したい。
- 具体的取組みの中で、イベントと呼べる催事はかなりの集客があり区外への認知度も高まっていると感じる。ただ、認知度が高いのは若年層や子育て世代、40歳台まで、50歳台以上になると少し認知度が下ると感じる。これは、参加型多いと考えられるので仕方が無い部分はあるが、どういった年代層にターゲットを絞っているのかもっと明確にすればいいのではないかと。鶴見緑地を一番のアピールし、開催する考えは当然であるが、区民センターも同時に併用した催しも考えては？
- 「発見！！つる魅力」冊子の転入世帯への配布は鶴見区の紹介、住んでいい街のアピールとして有効であるので現状の中身の充実を図る。特に各地域の特性や、情報？
- ウィンターフェスティバルの光の花栈敷は素晴らしい演出だが、区民の中にも慣れが出始め新しいパターンの演出や時間を長くして欲しいなどの声を聞いている。
- トワイライトコンサートは、これを楽しみにして毎回いらっしゃる方達もいるかと思いますが。区役所と地域の方を繋げる良い取り組みかと思います。
- 沢山のイベントを実施していただいていることに本当に頭がさがります。いろいろな形で広報はいただいていると思いますが、もっと知っていただける方法が何かあればよい。

(環境)

- 環境フェスタは難しい企画だと思う。しかし、集客力を増やす工夫に期待したい。例えば、「咲くやこの花館」に協力を仰ぎ、緑化等（身近な）テーマを基に環境問題についてお話をして頂いたらどうか。
- 種花活動の複数拠点化に取り組み、鶴見区全体の花づくり運動として、区役所の皆さんやボランティアの努力によって各町会の公民館、各地区の公園等に四季の花が植えられ、きれいな街づくりができています。これからも町内の皆さんや鶴見区公園事務所と連携して、鶴見緑地及び鶴見の町全体が花の絶えない町にしていきたい。
- 対象とする年代層の明確化。「種花活動の複数拠点化」「種花活動（春蒔き・秋蒔き）の実施 各1回」については各校下の小学生低学年の生徒に授業の一貫で参加させてはどうか？
- 沢山の事について取り組んでいただいているのは素晴らしいと思います。
- 環境フェスタ等については、今後も若者達、特に子供達を対象とするなどの方が意味があるのではと感じます。もし、そうされるのなら、夏休みの自由研究等にも繋がるように夏休みに開催する等いかがでしょうか？

【経営課題2】地域コミュニティの活性化

(会計の透明化)

- 連合の場合は、市公金 50%~75%であるが、事業資金すべて公金であります。その事も合わせてご指導願います。(町会費からの出資分 25%~50%)
- 会計処理については、各地域とも進展したが、公開(発信が)が不十分です。
- 地域活動団体に交付した公金の用途を区で公表しても、地域では未公表?
- 会計担当者だけではなく、役員、理事も時には含めては?
- PC を見る人は多くても、あえて区の HP をみるか疑問。四半期でもいいから広報に掲載すれば?

(情報発信)

- 広報誌の目的は、情報を逐次速やかに発信するのですが、年 1 回程度では?
- 地域活動や地域の魅力発信、地域の法人格取得支援は地域でやっていますか?
- 地域活動の情報発信については、まめな更新をすることにより、閲覧件数が増え、興味関心を持ってもらえるのではないのでしょうか。
- 地域活動は予め地域に前年度の 1 月頃から確認、カレンダー方式で発信。殆どの地域が前年の踏襲となっているはずなので確認し易いのでは?

【経営課題3】次世代育成に向けたまちづくり

(安心して子育てできる環境づくり)

- 具体的な取組が功を奏して、区の環境はかなり整備されていると考える。

(子ども・青少年の健全育成)

- 保護司をしている関係で毎年青少年健全育成大会には参加し、その中の講演を楽しみにしている。今年は大阪体育大学准教授の曾根純也氏による「未来を変える、子どものころからのスポーツ習慣」のお話を聞いた。スポーツは心と体の成長を促す。だから子どものころからのスポーツをすることの重要性のお話を興味深く拝聴しました。鶴見緑地にはスポーツをする施設がたくさんある。少年野球やサッカー他の指導者が集い交流する場があってもよいのではないかと思う。
- 区政会議で全体会議の前に、各部会を開催してフリートーキングができることがとてもよいことだと思う。各部会の委員は出来るだけ部会に出席して、意見を言うのはよいことだと思う。
- ライブクリーンプロジェクトは、参加する高校の発表会となっている。地域住民が一体とは思えない。
- 青少年健全育成鶴見区民大会は、鶴見緑地も使用し、青少年参加イベントも行ってはどうか？
- こどもの環境ととのえ隊について、公園内の重点巡視箇所を決める。鶴見警察少年係と連携する。
- 教育行政連絡会や、学校協議会、校長会教頭会に参加して得た情報で、開示出来るものは開示する。
- 異文化交流は、中学生も含めて回数を増やす？
- 留学生との交流事業は、高校生も含めて回数を増やす？
- 青少年カーニバル等毎年10月10日開催を、運動会や他のイベントと重なりがちになり募集がすくなくなってしまうのが気になります。
- 青少年「夢・未来」講座は、いろいろな分野の方を招いて、継続的に実施いただきたいです。

【経営課題4】安全なまちづくり

(街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり)

- ルールが守られていないので、高齢者への研修会の回数を増やしてほしい。
- (防犯カメラ) 来年度以降も予算計上されるなら増設すべき。
- (一斉行動) 活動日では無く活動曜日で時間も精査する。
- (合同連絡会) 四半期に1回程度にし、情報を共有する。
- (高齢者への交通安全教室) 各地域毎に行うか、複数の地域毎に行っては？
- 防犯カメラについては、今後も設置活動を継続し設置総台数を増やすことが軽犯罪を防止し、区内の重大犯罪を未然に防ぐことに繋がると感じています。
- 防犯カメラについては「設置されている」のが「見える様にする」の犯罪の防止につながると感じていますのでご検討ください。例) 徳庵南商店街の防犯カメラ
- 最近特に学生達において、自転車のマナーが悪いのが目につきます。スマホ等を見ながら運転しているケースも多く見かけます。重大な事故につながりかねないリスクが伴っていることを自覚させるような教育をお願いしたいです。

(災害に強いまちづくり)

- 地域にあった防災を。
- 内容、取組みには満足できるが、参加者に偏りを感じる。より広く一般の区民が参加できるよう期待する。
- (避難訓練) 各地域の意識は高まっているが、後も一步前に進める活動を考える。
- (小中学校の防災学習会) 地域でも行えばどうか？
- 安心・安全フェスタはそのイベント単独では集客が図りにくいと思います。他のお祭りイベント等とからませれば関心を持つ方がふえるのではないかと感じました。
- つるみんピックは実際に身体を動かし、他の地域と交流し技を競うことで防災活動の練習や見直しに繋がるなど良い取組みかと思えます。

【経営課題5】健康で安心して暮らせるまち

(住み慣れた地域で人権を尊重して安心して暮らせる地域福祉の推進)

- 集客の点については頑張っていますが、参加者が毎回同じ人が多く、地域での広がりが無いように思う。
- 事例検討会では、成功事例のみが突出して、実態の把握ができていないように感じる。
- 社協・包括そして地域（民生を含む）との連携が今後必要となるが、そうした取り組み二進展が見られない。また見守りについても年間を通じて状態確認が必要と考えるが、この部分は「地域の助」がないと実効性がない。この点も地域に対しての働きかけがみられない。
- 今後迎える超高齢化社会に対して、地域に対する具体的啓発活動など、具体する必要がある。
- 「経営課題5」健康で安心して暮らせるまち、この項目は、最も、区役所と区民の協働が必要などところと思う。「行政としてしなければならないこと」が縦糸とすれば、「地域としてしなければならないこと」を横糸にして、「福祉」という布を織っていかなければならない。お互いがミスマッチをすれば、十分な福祉が行き渡らない。いろいろ不幸なことが起こる。そうならないための基本は「いたわりの心」を持ってことにあたることが大事なことのように思う。「他人の痛みを感じること」のできる気持を持って事にあたれば、すべてうまくいくと思う。コミュニティソーシャルワーカー、地域福祉コーディネーターはじめ福祉に関わる皆さんの一層の活躍を期待したい。
- 参加者が当事者意識を持って参加していると思われるが、時には高齢者、障害者の当事者も参加を促し、生の声を聞ける取組に出来ないか？
- これからの高齢者にはもっとも大事なことであり積極的にやって欲しい。
- 今後、高齢者比率が高まる日本において、このような取組は年々重要度が増しています。色々な取組を実施し、鶴見区にとって好ましい方法を選択していただければと思います。

(健康づくりへの支援)

- 事情が許せば、幅広く〇〇を増加できれば良い（参加者の増加）

【経営課題6】区役所力の強化

(区民に信頼される職員の育成および褒める・認める組織風土の醸成)

- 鶴見区はイベント・行事が多く、休日出勤等プラスアルファのお仕事があると思います。お疲れの時もあると思いますが、明るく活気のある職場にしてください。
- 1人の評価が全体を左右すると考えます。
- 窓口のご対応は非常に優れていると、来庁された近所の方から伺っています。
- 個人情報漏えい事故の減少には繋がっていない様に思います。(今年の件数結果では)
- 職員の方の負担はいかが。
- 窓口業務については、業務委託となって久しいが初期に比べて対応はかなり改善されていると考える。区役所の窓口業務は、区民に対するサービス業務であり接客業に近い業務であるので、今のレベルからもう一段高いレベルになる事を期待。申請や相談についてはすぐに処理が行えるもの、そうでないものがあるので、各担当で洗い出しを行い、棲み分けを行ったりし問題解決を随時行う。訪れる住民の中で対応の難しい住民に対しては、毅然とした対応が行える環境づくりも必要では？
- 以前に比べると大変大変良くなった。

(積極的な情報発信の推進)

- 地域の活動について広報活動が活発に行われていて、広報誌を発行している関係者は大変ご苦労なさっておられると思います。このまま、広報・発信が継続されるように頑張ってください。また、区役所の関係者の皆様は、まとめていくのに大変だとは思いますが、適宜・的確な情報発信をよろしくお願いします。毎月の広報誌の全戸発送も大変だと思います。現在の広報活動及び広報の記載内容も含め、よく努力されていると評価いたします。
- フェイスブックでの告知が少ないように思う。ポスターの画像等、一目で理解できるものを使ってはどうか。
- 広報つるみについて、大変見やすく、楽しく拝見させて頂いております。
- つるみっこだよりの発行について、広報つるみのプチ案内的な要素もあるかと思いますが、内容を抜粋しすぎて、この1枚のみではどのような内容であるのか見えにくい場合はないでしょうか？子ども達が興味を持てるニュースがもう少し載っていても良いかと思いました。
- (広報誌?) 配布は民間にですかね。
- 非常に見やすく、内容も豊富であり鶴見区だけではなく大阪市のイベント情報も含まれており、これを楽しみにご覧になられている方も多いと感じてます。
- 広報活動については、常に新しいことにチャレンジし良い方法を探って頂ければと思います。(現時点でもかなり工夫いただいていると感じています。)
- つるみっこだよりは、区役所と子ども達、また母親達をつなげ行政を身近に感じるきっかけでもあると考えています。今後も継続いただければと思います。